

令和元年 5月20日

令和元年

第5回教育委員会定例会会議録

大田区 教育委員会室

平成 31 年 4 月 25 日（木曜日）午後 2 時から

1 出席委員（6名）

小 黒 仁 史		教育長
三 留 利 夫	委 員	教育長職務代理者
弘 瀬 知江子	委 員	
後 藤 貴美子	委 員	
高 橋 幸 子	委 員	
深 澤 佳 己	委 員	

2 出席職員（10名）

教育総務部長	後 藤 清
教育総務課長	森 岡 剛
教育施設担当課長	鈴 木 龍 一
副参事（教育地域力担当）	元 木 重 成
学務課長	杉 山 良 樹
指導課長（幼児教育センター所長兼務）	岩 崎 政 弘
副参事	早 川 隆 之
学校職員担当課長	池 一 彦
教育センター所長	柿 本 伸 二
大田図書館長	中 平 美 雪

3 日程

日程第1 教育長の報告事項

日程第2 部課長の報告事項

日程第3 「議案審議」

第23号議案 おおた教育ビジョンの策定について

~~~~~  
(午後2時00分開会)

○教育長

それでは、ただいまから、令和元年第5回教育委員会定例会を開催いたします。

本日は傍聴希望者がおります。

委員の皆様には傍聴許可を求めます。許可してよろしいでしょうか。

(「はい」との声あり)

○教育長

傍聴を許可いたします。

(傍聴者入室)

## ○教育長

大田区教育委員会傍聴規則第7条により、傍聴人は、議場における言論に対して批評を加え、または拍手その他の方法により公然と可否を表明することは禁止されております。ご協力をよろしくお願いいたします。

これより審議に入ります。本日の出席委員数は定足数を満たしておりますので、会議は成立しております。

まず、会議録署名委員に弘瀬委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。

続いて、本日の日程第1について、事務局職員の説明を求めます。

## ○事務局職員

日程第1は「教育長の報告事項」でございます。

## ○教育長

本日、私からは、第68回の大田区子どもガーデンパーティーについて、また、中学校の運動会について報告させていただきます。

大田区子どもガーデンパーティーは、4月28日、区内10カ所で開催されました。私は、多摩川台会場を皮切りに、7会場を回らせていただきました。当日は、大変な好天に恵まれて、爽やかな新緑のもとでガーデンパーティーが行われました。

今年のガーデンパーティーで印象に残ったことを幾つか申し上げると、まず中学生、高校生などの若い人たちが、ボランティアでイベントにとっても多く参加していたと感じました。子どもたちを健全に育てようということで町会等、様々な参加があり、中学生、高校生が多く活躍していたのが印象に残りました。

それから、7会場回らせていただきましたが、その会場ごとに特色がございます。非常に規模の大きなところもありました。多摩川台公園は、割とコンパクトなところにたくさんのコーナーがありました。どこの会場につきましても、町会や関係機関、学校、PTAなど、様々な多くの団体の協力が得られていると思われました。

多摩川台公園は、非常に緑が多い公園でございますし、その次に行った六郷につきましても、非常に河原の広い環境がございます。それから、池上の公園など、大田区の地域ごとに特色ある楽しいイベントであったと思っております。

10連休の二日目ということで、多くの方が来場されておりました。大田区には、このような子どもたちが集うイベントが地域に比較的多いのではないかと考えております。地域の方が子どもたちを育てる、または面倒を見て育成していくという環境があり、その中で、子どもたちは、地域の伝統とか、文化とか、人々と触れながら健やかに育っていくという、本区のよさがあると考えました。

次に、運動会については、5月11日と18日、馬込東中学校、田園調布中学校、矢口中学校、出雲中学校の4校の中学校の運動会を見させていただきました。

まず馬込東中学校につきましても、山王小学校を会場として実施されました。馬込東中学校は、かつては非常に生徒数が少ない学校でしたが、最近では、生徒数が増えつつあります。そこで山王小学校の校庭、1周100メートルある校庭で昨年からは馬込東中学校の運動会が実施されております。開会式やラジオ体操等を見て、非常に生徒の姿勢がしっかり

しておりました。それから、持久走では、周回おくれになる生徒もいましたが、最後まで一生懸命走っている姿が印象的でございました。かつて生徒数が少なかったときの運動会と比べますと、随分迫力があって、中学生らしい特色を活かした運動会になっていたかと思えます。

次に、田園調布中学校に参りました。全員リレーとムカデ競争、綱引きなどを見ました。全員リレーは、学年のクラスが2クラスなので、二人で走っております。応援もほほ笑ましい様子でございました。また、綱引きでは、男子ごと、女子ごと、そして、全員で綱引きといったように、多くの出番がある運動会であると思えました。それから、ムカデ競争では、二人のムカデから、三人のムカデ、四人のムカデ、といった具合にどんどん増えていくというように工夫があって、子どもたちの運動量を確保しながら、行われていました。生徒たちは大変に穏やかな、落ちついた雰囲気で行っていたのが地域性かと思ひ、印象に残りました。

次に、矢口中学校は、5クラスの規模の大きな運動会でございました。保護者の方も大変たくさん来ておりました。1年生から3年生までの選手の100メートル走を初めに見させていただきましたが、1年生、2年生、3年生と年齢が上がるにつれて、非常にスピードと迫力が増してくると思えました。中学生が3年間に大きく成長していく姿が、特に男子は力強さに大きな変化があると感じました。矢口中学校は、本年度、知的障害学級ができて、4人の子どもたちがいますが、その子たちも一緒に参加しながら、頑張っているのが印象的でした。また、2年生だったかと思ひますが、全員リレーを見ました。5クラス全員でやりますと、子どもが途中で転んでしまったり、バトンを落としてしまったりといったハプニングもありましたが、抜きつ抜かれつといった迫力のあるリレーでございました。

最後に、出雲中学校に参りました。出雲中学校は、学校規模が5クラスの学校ですので、非常に迫力がありました。閉会式まで見ましたが、この学校の一つの特徴は、生徒が司会進行など、前面に立って、実行委員制度で活躍するという運動会の特徴があります。校長先生が、カーブコーナーのところにもいつもおり、怪我をする子が多いので注意しているなど細かな安全に対する配慮もございました。それから、ムカデ競争が大変上手でございました。クラスごとにやるのですけれども、「1、2、1、2」と声を合わせてやりますが、気持ちを合わせて相当練習したのだなと感じました。やはりこのムカデ競争で得られる体験というのも、子どもたちにとっては大事な経験ではないかと思ひました。

以上、運動会は学校ごとに特色がありましたが、共通するのは、中学生が一生懸命に競技に取り組む真面目さを感じたところでした。難しい年頃ですが、健やかに育っていくという経験をしていると思ひました。運動会という大きなイベントですけれども、やはり子どもたちの成長にとっては大事な行事の一つであると感じました。

以上、2件についてご報告をさせていただきました。

何か、ご意見、ご質問等はございますでしょうか。

#### ○三留委員

教育長から、ガーデンパーティーについてお話がございました。私もこの日は、矢口会場と六郷会場の実施の様子を見てまいりました。どちらも多摩川の河川敷に会場がありま

した。この日は4月末にもかかわらず、富士山がくっきり見えて、絶好のコンディションの中で行われていました。

教育長から中学生の話があったのですが、矢口会場と六郷会場で、中学生が多摩川の土手をランニングして、お互いにメッセージを届けるということをやっている、なかなかいい取り組みだと感じました。

芝ソリ体験、小動物の触れ合い、トランポリンなど、いろいろなコーナーがあって、子どもたちが生き生きと参加しているというのが印象的でした。そういう状況を見ていると、子どもたちが野外で大勢の地域の人と触れ合う、そして、とことん遊びを楽しむ、こういうことが大切だということを感じさせられました。

開会式の挨拶を矢口会場でさせていただきました。そのときに述べさせていただいたのですけれども、やはりガーデンパーティーというのは、大田区の標榜する地域力、これの基盤となる地域への愛情だとか、地域の一員としての自覚の醸成、こういったことにつながる、極めて大切な事業なのだという、改めて実感いたしました。

実施にあたってご尽力いただいた青少対の実行委員の皆様や地域町会・自治会の関係者の方、それから協力団体の方に、心より、御礼申し上げたいと思いました。

#### ○高橋委員

高橋です。

私は、萩中会場に参りました。萩中会場は萩中公園の中にあって、とても広い会場です。第1会場に本部がありまして、そちらは少年野球場なのですが、そこにステージをつくって、吹奏楽の演奏やダンスの発表がありました。その会場の中には、手づくりやゲーム、体験などのコーナーがあって、子どもたちは、とても元気にコーナーを回っていました。

第2会場は野球場ですが、広いところに模擬店が並んでおりまして、どのお店も長い列ができていました。スポーツやゲーム、手づくりのコーナーなどもあって盛況でした。

第3会場は萩中小学校の体育館ですが、ステージでは琴演奏をはじめ、様々な発表があり、体育館の中には、お茶席やゲーム、手づくりコーナーなどがありました。

校庭では、ボッチャ体験をしておりまして、これがまた、とても好評だったという話を聞きました。とにかく広い会場なのですが、たくさん子どもがとても楽しそうに遊んでいました。消防署のはしご車が来るのですが、はしご車に乗る体験も整理券を出すほど人気で、乗った子たちはとても喜んでいました。

以上です。

#### ○教育長

ありがとうございました。

それでは、次に、日程第2に移ります。

第2について、事務局職員の説明を求めます。

#### ○事務局職員

日程第2は「部課長の報告事項」でございます。

## ○教育長

それでは、部課長の報告をお願いいたします。

## ○学務課長

私のほうから、令和元年5月1日現在の小中学校の児童・生徒についてご報告を申し上げます。

資料をご覧ください。まず、最初の表が小学校になりまして、その裏が中学校、最後が特別支援学級等の数字になってございます。順番に、簡単にご説明申し上げます。

まず、1枚目をご覧ください。令和元年5月1日現在の区立小中学校の在籍者数についてのご説明になります。まず、小学校の総児童数ですが、その表の一番下をご覧ください。2万9,339人、これが5月1日現在の総児童数になってございます。昨年と比べまして、130人の増となっております。主な増となった要因なのですが、昨年、6年生、つまり卒業した6年生が昨年は4,779人でありましたが、この4月に入学をした1年生が4,871人、差し引き92人が増えたということが大きな要因ではないかというふうに分析しているところでございます。

その欄の右隣に総学級数が載ってございます。小学校全体では、985学級となりまして、昨年と比べまして12学級の増という形になっております。

続きまして、裏面の中学校をご覧ください。同じように、一番下の欄をご覧ください。中学校全体の総生徒数ですが、1万975人となります。昨年に比べまして、68人の増という形になります。この主な増の要因ですが、同じように、中学校3年生で卒業したのが3,698人だったのですが、この4月に入学した1年生が3,719人です。この卒業生と新入生の差であります21人による増、それから、年度途中で転入生による増加が今回多かったということが主な要因であると、分析しているところでございます。

同じように、学級数につきましては、その右隣をご覧ください。中学校全体では341学級となりまして、昨年に比べまして6学級の増となっております。

簡単ですが、最後に、3ページ目をご覧ください。特別支援教室等の状況でございます。特に、一番左側の小学校におきます特別支援教室についてご報告を申し上げます。平成28年度から本格的に全校でスタートいたしました特別支援教室の児童数ですが、その推移についてご報告を、まず申し上げます。

令和元年5月1日現在では、区全体で、一番下をご覧ください、803人が在籍しております。昨年が781人だったので、昨年に比べまして22人の増、ポイントで言いますと2.8ポイントの増加となっております。ちなみに、スタート時点でありまして平成28年度の5月1日が551人、平成29年度の5月1日が715人、平成30年の5月1日は781人、で、今回の803人ということになりまして、平成28年度の当初よりも1.5倍に児童数が増えているという状況でございます。

特別支援学級等、それほど大きな動きはございませんが、細かい数字を今回報告させていただいております。後ほどお目通しをいただければと思います。

簡単ですが、私からの説明は以上です。よろしく申し上げます。

○教育長

ありがとうございました。

何か、ただいまの説明にご質問はございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、次に、日程第3について、事務局職員の説明を求めます。

○事務局職員

日程第3は「議案審議」です。

それでは、議案を読み上げます。

第23号議案 おおた教育ビジョンの策定についてでございます。

よろしく願いいたします。

○教育長

ただいまの議案について、事務局職員の説明を求めます。

○教育総務課長

それでは、第23号議案 おおた教育ビジョンの策定についてご説明いたします。

本区の総合的な教育施策を推進する計画として、平成26年度に策定しました「おおた教育振興プラン2014」の、5年間の計画期間が平成30年度をもって終了したことから、このたび、次期計画として「おおた教育ビジョン」を策定いたしました。そのため、議案として提出するものでございます。

詳細につきましては、教育地域力担当副参事より説明させていただきます。

○教育地域力担当副参事

それでは、私からは、おおた教育ビジョン策定について、ご説明させていただきます。

お手元に概要版、それから本編をご用意させていただきました。概要版でご説明をさせていただきたいと思っております。お手元に資料をご用意ください。

まず、概要版の表紙をご覧くださいでしょうか。本ビジョンは、令和元年度から令和5年度まで、今後5年間の大田区第3期教育振興基本計画として策定したものです。本ビジョンは、教育の普遍的な目的である、豊かな人間性の育成と未来社会を生きる子どもたちの資質、能力として、未来をつくる力を重視しております。テーマは「豊かな人間性をはぐくみ、未来を創る力を育てる」としたところです。

それでは、表紙をおめくりいただければでしょうか。A3横の計画体系図をご覧ください。先ほどご説明いたしましたテーマが上段に記載しているところでございます。このテーマを推進するにあたり、教育ビジョン、四つの柱を掲げてございます。ビジョンを見やすくするため、テーマごとに色で塗り分けております。柱となるテーマですが、ビジョンⅠは未来、ビジョンⅡは子どもの成長、ビジョンⅢは教育環境、ビジョンⅣは地域に焦点を当て、教育施策を推進してまいります。

次に、重点的に進める教育プランです。教育ビジョンは、教育目標を実現する基本的な理念や考え方を示したものです。そのビジョンを踏まえ、教育施策を体系化すること、事業展開の道筋をつけることを目的に、六つの教育プランを設定いたしました。四つの柱に

あるビジョンに六つのプランが対応しています。

ビジョンⅠが、プラン1、未来社会を創造的に生きる子どもの育成【未来】が対応しています。未来をつくる力として、コミュニケーション能力、論理的・科学的な思考力、情報活用能力、ともに生きる力、健康増進・体力向上の五つの資質、能力に富む子どもを育てる教育施策を推進してまいります。

ビジョンⅡには、プラン2から4、学力向上【知】、豊かな心の育成【徳】、体力の向上と健康の増進【体】が対応しています。人格の完成には、教育の普遍的な目的でありま

す豊かな人間性を涵養するため、知・徳・体の中心に、人格形成の根幹をなす教育に力を入れてまいります。

ビジョンⅢには、プラン5、魅力ある教育環境づくり【学校・教職員】が対応しています。子どもたちの個性や可能性を引き出すためには、魅力的な学びの場を創出することが大切になります。校長のリーダーシップのもと、教育環境の整備に努めるとともに、教育の指導力と事業力の向上に努めます。施設・整備面では、校舎の老朽化に伴う改築の実施、学校施設の充実、さらには、安全面の対策を積極的に講じ、教育環境の充実に努めます。

ビジョンⅣには、プラン6、学校・家庭・地域が一体となってともに進める教育【学校・家庭・地域】が対応します。大田区には、豊かな地域力があります。地域の特徴を生かし、学校、家庭、地域が連携、協働し、子どもを育てる教育を推進します。

次に、成果指標についてご説明いたします。12 ページをご覧くださいでしょうか。12 ページから、すみません、13 ページになります。本ビジョンでは、事業進捗の把握を目的として、六つのプランに目標値を明らかにする 11 の成果指標を設定しました。その一つを紹介しますと、プラン1には、コミュニケーション能力を掲げています。その指標の一つとして、英語検定3級以上を取得している中学校3年生の割合を、令和5年度までに60%としています。これは、東京グローバル人材育成計画20とも対応した計画となっております。

このほか、各プランごとに各事業の成果を数値化することで、教育施策の効果をわかりやすくあらわすこととしました。

なお、本編については、後ほどお読み取りいただきたいと思います。

最後になりますが、教育に関わる様々な活動に対し、教育委員の皆様をはじめ、区民の皆様のご参画をお願いするとともに、皆様の期待に応えるべく、質の高い教育の実現に向け、おた教育ビジョンに全力で取り組んでまいります。

私からの報告は以上になります。

#### ○教育長

ありがとうございました。

それでは、ただいまの説明に対して、ご意見、ご質問はございますでしょうか。

#### ○三留委員

昨年5月、策定方針の決定をして、その後、事務局を中心に苦勞をして、何度も丁寧に素案作成のための検討をしているということ、実際に私も見てまいりました。その上で、3回の策定懇談会の審議を行い、素案ができてきたということです。さらに、パブリック

コメントの意見を精査、尊重して練り上げられたものができてきたなという感じがしています。

2月の定例会でも意見を述べさせていただきましたけれども、大田区の教育振興基本計画として、大田区の地域性も考慮しながら、新しい時代に即した教育ビジョンの策定がなされたと、私は思っております。

私は、このビジョンに示された方向で大田区の教育を進めていくことに賛同いたします。

1点だけ、これまでの定例会で触れなかったことについて、ちょっと意見を述べさせていただきますと思います。

それは、プラン6、学校・家庭・地域が一体となつてともに進める教育に記載されている地域学校協働活動についてであります。大田区は、東京都における実施地区となっており、私は、大田区については、地域学校協働活動が大変進んでいる区と、認識をしております。文部科学省の地域学校協働活動のガイドラインに関わる先進事例として、大田区のロボット&プログラミング教室の事例も紹介されております。

改正社会教育法には、地域学校協働活動が明示され、教育委員会による地域住民との連携体制の整備、普及啓発の措置なども記載されているわけであります。地域力が高いのが大田区の特色と、私は思っています。今後、地域学校協働活動の一層の充実を、望んでおります。

以上です。

#### ○深澤委員

深澤です。

おおた教育ビジョンについてですが、4つの教育ビジョンの柱に対して、重点的に進める教育プランが明確になっていると思えました。特に、色分けをしていただいたことで非常に見やすくなっておりまして、誰が見ても、どういう教育プランとして進めていくのかということがわかりやすくなっているのも、よろしいのではないかと考えております。

今年の3月だったと思いますが、パブリックコメントで、区民の皆様からいろいろご意見をいただきました。そのご意見を一つ一つ教育委員会で拝見して、検討をいたしました。そこで、委員からいろいろ意見が出ましたが、それに対しても事務局の方々が真摯に対応してくださいました。

ものづくり教育の充実であるとか、国際都市にふさわしい日本語指導の充実なども盛り込まれていて、非常に大田区の特色を生かしたビジョンになっているのではないかと考えておりまして、私もこのビジョンには賛同をいたします。

#### ○弘瀬委員

弘瀬でございます。

私も、とてもよくできていると思えます。

きになるところは先ほどお話がありましたように、英語教育です。英語検定60%というのは、うまくやれば60%到達できるかもしれないですが、かなりハードルが高いのではないかなと思います。ぜひ英語教育には力を入れていただいて、これから未来を背負って立つお子さんたちにも頑張ってもらいたいと思います。英語の文脈は日本語

とは違うのだということをごきちんとして教えていただきたいと思います。

もう一つ、がん教育については去年から教育委員会と大田区三医師会の学校医が一緒になって喫煙防止教育を始めました。去年は10校内科校医と歯科校医が学校に行きまして、禁煙をしてきました。喫煙する前のお子さんですので、どのような危険があるかを理解していただき今後自分はタバコを吸うかどうかを決めていただきたいと思います。説明の前後でアンケートを行いました。多くのお子さんたちからタバコは絶対に吸わないという回答をいただきました。タバコを吸う、吸わないという意味決定も大事ですが、勧められたときに、私は吸いませんという、そういう意思表示がしっかりできる子どもたちに成長していただければ、ありがたいと思います。

詳しいがん教育に関しましては、奥が深いですし、全てをやることは難しいと思いますが、今、教育委員と学校医で進めています肺がんの危険因子の一つのある喫煙を防止するという教育をぜひ、これからも進めていき徐々にそのほかのがん教育につなげていければいいと考えています。

以上です。

#### ○後藤委員

後藤でございます。

私も、このおた教育ビジョン、何度も目を通させていただきまして、教育委員の皆さんと一緒に評価、それから思案をしてきた次第でございます。プラン1からプラン6までにわかれて、未来、知・徳・体、それから学校教職員、学校・家庭・地域といったところに視点をあてて、細かく精査しながら、子どもたちの教育、未来へ向かって育んでいく教育を目指したところでございます。

特筆として申し上げる点は、家庭・地域・学校という連携の中で、家庭教育支援講座というのを、保護者が家庭教育の重要性を認識し、子どもの発達や遊びについて理解を深め、自信を持って子どもに関わることができるよう働きかけることで、子育て家庭を支援しますといった事業内容及びスケジュールとなっております。この辺の家庭教育といったところでは、保護者が細かいところで認識をしていかないと、なかなか学校教育につながる手だてが難しいのではないかなと感じている次第でございます。

その点を網羅しながら、このおた教育ビジョンに、私も賛同させていただいております。子どもたちの未来に向けて、教育に邁進していただけるとありがたい、そして、私達も目を向けて、細かく見ていきたいと思っております。

以上です。

#### ○高橋委員

高橋です。

大変素晴らしいものができたと思っております。私たちの意見を、事務局がきちんとして対応してくださり、内容も入れていただいております、とてもよかったと思います。

子どもの未来を見据えたプラン1ということで、子どもの未来はとても大切なので、こういう教育は、これからはぜひ、重要視していただきたいと思います。

また、地域への愛着を育てる教育ですが、先日、ガーデンパーティーがありましたが、地域との関わりをもつことで、子どもたちもいろいろな勉強ができるので、できるだけ地域に参加できるような教育をしていっていただきたいなと思っております。

以上です。

○教育長

ほかにご意見はよろしいでしょうか。

それでは、第23号議案につきましては、原案どおり決定いたします。

よろしいですか。

(「はい」との声あり)

○教育長　それでは、これをもちまして、令和元年第5回教育委員会定例会を閉会いたします。

(午後2時35分閉会)